

編集後記

今年各地で大雪の便りが聞こえてきますが、新潟庁舎のある新潟市内は昨年よりも降雪量が少なく、過ごしやすい冬となりました。

さて今号では、今年度日本海区水産研究所で行った研究開発の成果をご紹介します。日本海は、全国のズワイガニの水揚げの9割以上を占める重要な海域です。日本海におけるズワイガニの漁獲量と資源量はともに5年ほど前までは増加傾向にありましたが、その後減少しています。

そこで、ズワイガニ資源が変動する原因を解明するために、幼生の成長や生残が育成環境にどう影響されるのかを把握するための飼育試験や、ズワイガニ等の魚介類を育む海底の栄養物質の分析を行っています。また、ズワイガニ資源に対する漁業の影響を評価するとともに、他魚種を狙った操業でのズワイガニ混獲を軽減するための改良型底びき網の開発も行っています。

このように、日本海区水産研究所は日本海の水産資源を持続的に活用するための、さまざまなアプローチを行っています。

(日本海区水産研究所業務推進課長)

発行：独立行政法人水産総合研究センター

編集：独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所
〒951-8121 新潟市中央区水道町1-5939-22
電話：025-228-0451(代) FAX：025-224-0950
<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>